

学習内容報告書 フォーマット

学校名	愛知県蒲郡市立西浦小学校
授業者	山田 りか

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

知りたいことを聞き出そう

1-2. 学年

第5学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

国語

1-4. 単元の概要

社会で学習した「水産業」についての疑問を、総合の時間に本やインターネットで調べた。調べを進める中でわからないことや、もっと知りたいことが出てきたり、地元西浦の水産業の実態や課題に着目した児童もいた。

そこで、「いちばん知りたいこと」を児童が設定し、各々の疑問を解決するために西浦の漁業協同組合の方にインタビューを依頼した。「いちばん知りたいこと」を深く聞き出すための質問を計画し、相手の回答に応じて柔軟に問い返していく経験ができるようにした。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

本学級は、社会的で好奇心旺盛な児童が多い。国語の授業では、物語文の場面や人物の様子を想像し、声色や調子を変化させながら音読する姿が見られた。友達の工夫を取り入れることもでき、前向きに学び合うことができている。しかし、意見を発表する際に、思いつきで話す児童も少なくない。そのため、話し合い活動で話題からそれてしまうことがある。話題を意識しながら話したり、話の中心を考えながら聞いたりできるようになってほしいと考え、本単元を設定した。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

本単元では、社会や総合で学習した漁業の内容に興味をもった問題について、インタビューを通して調べ学習をおこない、調べたことをよりわかりやすく説明するために、資料を活用したまとめ方を学習する。インタビューは、目的を明確にし、答えを予想しながら聞く必要がある。自分の考えをもち、予想した答えと比べて考えることができれば、新たな疑問が生まれると考えられる。予想と違う答えもあるが、本当に知りたいことを意識できれば、その場で計画にはない質問も考えて尋ねることもできるようになるだろう。報告会では初めて聞く相手にわかるように発表する必要がある。伝えたいことに焦点をあて、図表などの資料を活用して説明する学習をすることで、意図を明確にして伝える力や、図表などの資料を活用して説明する力が身につくだろう。

1-7. 単元の展開 (全 12 時間)

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>★「いちばん知りたいこと」を決めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁師さんの船の中の1日の生活が知りたい。 ・西浦で多く水あげされている魚を知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会や総合的な学習の時間で学んできたことをもとに、「いちばん知りたいこと」を決定させる。 <p>評価：いちばん知りたいことを決定させることができたか。</p>
3	<p>★「インタビュー計画」を作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ話題はまとめて、時系列に質問した方がいいね。 ・答えを予想して追加の質問を考えよう。 ・話がそれてしまっている質問は外そう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問を並び替えやすいように、短冊に書いて貼っていかせる。 ・話題に沿って質問をさせるために、意図的に並べているグループを広める。 <p>評価：話題を意識して質問を考えることができたか。</p>
3	<p>★インタビューの練習をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想した答えが返ってきたときは、すぐに次の質問ができるね。 ・予想外の答えが返ってきたら、一緒に考えてもらったり、あとでじっくり考えたりすればいいね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予想外の答えが返ってきたときの対処を確認する。 ・インタビュー計画を縮小して配布する。 <p>評価：追加や関連の質問のレポーターを増やすことができたか。</p>
2	<p>★漁協さんにインタビューをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊張するけど、しっかりと計画を立てたから、たくさん聞けるといいなあ。 ・詳しく話してくれたとき、聞きとることが難しかったよ。でも、知りたいことをいっぱい聞いたよ。 	<p>◎外部連携：西浦漁業協同組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話すことが得意な児童には、「授業で〇〇を学習したのですが」などの前置きに挑戦させる。 ・どうしても言葉に詰まってしまった場合は、グループの友達に助けを求めさせる。 <p>評価：いちばん知りたいことを意識して話したり聞いたりすることができたか。</p>
1	<p>★聞いたことを整理しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いちばん知りたいことと照らし合わせてまとめよう。 ・これだけの情報があれば、報告書が書けそうだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いちばん知りたいことを再確認させる。 ・伝えたいことをどのような資料を用いてまとめるのかを考えさせる。 <p>評価：いちばん伝えたいことを意識し、報告書に載せる情報の取捨選択をすることができたか。</p>
2	<p>★報告会をひらこう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちだけが聞いてきた情報が、みんなにも伝わるように話そう。 ・図を指しながら話したいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことを中心に、図表を活用してまとめ、発表させる。 ・インタビューに至るまでの取り組みの感想と報告書を掲示する。 <p>評価：図表を活用しながら、相手を意識して報告することができたか。</p>

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 1 2 時間中の 6 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

知りたいことを聞き出すインタビューを計画することができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 前時の活動を思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問したいことや順番を考えたね。 ・くわしく聞くために質問をたくさん追加したよ。 <p>2 Aグループのインタビュー計画で取り入れたい工夫を探 す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問がつながっていて、くわしく聞くことができそうです。 ・同じ話題は前後にしたほうがわかりやすいと思いました。 ・聞きたいことと関係ない質問は消した方がいいね。 <p>3 自分のグループのインタビュー計画を見直す。</p> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 知りたいことを聞くための計画にしよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・漁師さんの仕事について質問したいから、船に乗っているときの1日の過ごし方を聞きたいな。 ・魚の値段は、漁師さんの仕事とは関係ない質問だから消そう。 <p>4 本時の成果を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aグループの工夫を取り入れて、詳しく知るための質問を追加することができました。 <p>5 本時のふり返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のグループの工夫を見たら、真似したいところがたくさんありました。知りたいことをしっかり聞くことができそうです。 	<p>★ワークシートやインタビュー計画を見ながら、前時の学習を思い出させる。</p> <p>○みんなが気づくことのできなかった視点に気づかせるために、工夫点や意図をAグループに発表させる。</p> <p>★答えを予想しながら質問を考えることを再度確認させる。</p> <p>○想定外の答えが返ってきたときの質問について考えさせるために、質問の答えの例を示す。</p> <p>○ねらいに迫ったことを確認させるために、質問の追加や削除の意図を問う。</p> <p>○本時の活動の成果を実感させるために、前時と比べて大きく変わったところやよくなったグループを意図的に指名し、発表させる。</p>

3. 今回の活動の自己評価

- 貼り替えが容易にできる短冊を使ってインタビュー計画を立てたことで、グループの仲間同士で話し合いをしながら質問を並べ替えることができた。思考を視覚化して、話題を意識するために有効であった。
- 大きな台紙を用意したことで、他のグループの進捗状況がわかったため、他のグループのよいところを取り入れたり、追加や関連の質問の数を競り合ったりすることができた。「いちばん知りたいこと」を聞き出すために高め合う様子が見られた。
- 本番では、3グループ同時にインタビュー活動をしたため、児童の活動の様子を十分に見守ることができなかった。
- 想定していたよりも、たくさんの質問ができるようになった。本番で一人あたりの時間の目安を示さずにインタビューさせてしまったため、順番が後の方になった児童の質問時間が短くなってしまった。



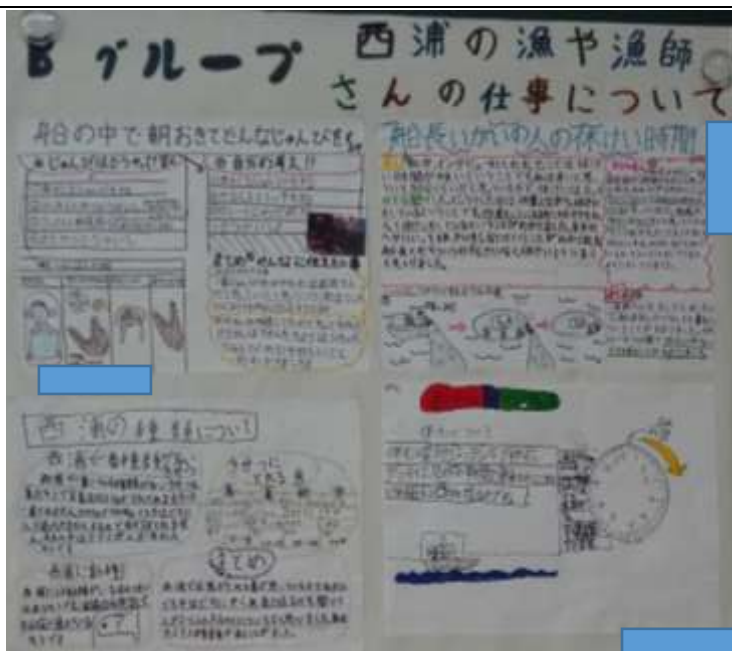
質問の順番を話し合う児童

4. 今後の課題

今回は、意図を意識して話したり聞いたりする力の育成に力を入れた。児童は、友達と協力したインタビュー計画作りや練習で、目的や意図から外れずに話ができるようになってきた。今後は、それに加えて意図を読み、意図が伝わるように書くことにも力を入れていきたい。

児童が作った報告書は、いちばん知りたいことをたくさん聞き出すことができたため、伝えたいことが多い。発表原稿とほとんど変わらない字数で紙を埋めた。

今後、伝えたいことだけを簡潔にまとめる力をつけさせたい。この先、本単元で培った力を生かし、図表を活用しながら「読みたくなる意図的な紙面」を目指し「紙面から伝えたい意図」を読み取る力をつけてほしい。



報告書

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

